

新型コロナウイルス禍でのボランティア受入等について アンケート結果

依頼件数	68施設		
回収件数	25件（回収率→36.7%）	高齢者施設	11件
		児童関連施設	7件
		障害者施設	7件

アンケート締め切り 9月11日（金）

Q.1 貴施設では、現在ボランティアの受入を行っていますか。

A.	①行っている	4件
	内訳)	
	高齢者施設	1件
	障害者施設	1件
	保育施設	2件
	②行っていない	15件
	内訳)	
	高齢者施設	9件
	障害者施設	1件
	保育施設	5件
	③条件付きで行っている	6件
	内訳)	
	高齢者施設	1件
	障害者施設	5件
	保育施設	0件

条件

- ・長年来ていただいているお一人だけ受け入れています（高）
- ・発熱していない、身近に感染者や濃厚接触者がいない等（障）
- ・スポーツプログラムのみ受け入れを行っています（障）
- ・クラブ活動の指導（月1回）（障）
- ・行事での最小限のボラに活動を限定している（障）
- ・直接利用者と接しない活動（障）
- ・マスクの着用と消毒。人数制限（障）

④その他 0件

→予想をしていたとおり、高齢者施設ではボランティアの受け入れを行っていないところがほとんどであった。

障害者施設では、条件付きで受け入れを行っているところが意外にも多かった。

保育施設でも受け入れを行っていないところがほとんどだが、一部受け入れを行っているところもあった。

Q.2 Q.1で①または③と回答した方への質問です。

受入するにあたって感染防止対策を行っていますか。

A. ①行っている 10件

内容

- ・マスク着用 ・検温 ・手指消毒 ・手洗い、うがい
- ・体調確認（家族を含めたところもあり） ・前日行動確認（表）
- ・ソーシャルディスタンス

②行っていない 0件

→一般的な感染予防を行って活動するようにしているところがほとんどだった。

Q.3 Q.1で②と回答した方への質問です。

ボランティアの受入を再開する目処はたっていますか。具体的にご回答ください。

A. ①_____頃再開する予定である。 0件

②再開する目処はたっていない 15件

理由

- ・コロナの件が終息の目途が立たないため（高）
- ・コロナ禍であり、状況が見えないため（高）
- ・新型コロナウイルスの感染リスクがあり責任を取ることができないため（高）
- ・現在の感染拡大の状況を鑑みると、具体的な再開時期は設定できません（高）
- ・新型コロナウイルス流行のため（高）
- ・建物内に有料老人ホームがあり、感染予防対策として、家族の面会、ボランティアの受入も現在ストップしている。（感染者増が止まらない現状の為）（高）
- ・入居者の面会が自粛されて家族と会うことができていない状況（高）
- ・感染拡大のリスクが大きい状態が続いている為（高）
- ・コロナウイルスの収束するまで（障）
- ・コロナの件が収束するまでは考えられない（子）
- ・新型コロナウイルスが終息するまでは受入困難（子）
- ・子どもの命を守るため、ボランティアの方の行動把握が出来ないのでワクチンが出来るまでは受け入れない（子）
- ・コロナウイルスの終息の目処がたっていない中、保護者も園舎内に入ることができないでいるため（子）
- ・コロナウイルス感染拡大防止の観点から。ただし、申し入れがあった場合は都度検討を行う（子）

→コロナが終息するまでは受け入れを再開できない施設がほとんどであった。利用者の命を守るための選択肢としては仕方がない部分である。

Q.4 ボランティア受入を行う上で課題となっていることは何ですか。

- A.
- ・外からコロナウイルスを持ち込んでしまう危険があること（高）
 - ・ボランティアされる方の健康管理（状況把握）（高）
 - ・新型コロナウイルスに感染しても無症状なこともある為、発熱がなくても受け入れは難しいのが現状です（高）
 - ・無症状の方も多いため、人の出入りが続くことで感染リスクが高まり、ウイルスの媒会となる危険性をはらんでいる（高）
 - ・感染防止（高）
 - ・接触時間を減らすこと、密にならないことが必要だが、高齢者施設のため限界がある。コミュニケーションや聞こえにくい方が多いので、どうしても密になりがち（高）
 - ・新型コロナウイルスの感染防止対策を完全に行う事が難しい点（高）
 - ・高齢者は命の危険があるため（高）
 - ・高齢者施設であるため、感染リスクが高い（高）
 - ・感染リスクを考慮した上での環境整備（高）
 - ・新型コロナウイルスへの対応、受け入れたいと思っているのだが、現状では困難なのが現実（高）
 - ・新型コロナウイルス感染拡大の為（ボランティア受入ができなくなり入居者様の楽しみがなくなっている）（高）
 - ・新型コロナウイルスに対する意識の有無やその方の環境（障）
 - ・新型コロナウイルスは、発症2日前から感染力があり、防御が難しい（障）
 - ・スポーツプログラムについては、特に課題はありませんが、上記のような感染対策にご協力いただかなければならないことと、人数が多ければ参加人数の調整が要となる（障）
 - ・日常の活動・作業のボランティアもお願いしたいが、密が心配なので依頼できない（障）
 - ・施設が狭く、十分な距離を取れない（障）
 - ・感染防止対策の為、限られた講座のみボランティア受入を行っていますので、多勢のボランティア受入ができません（障）
 - ・出入りする人の安全性（接触者、陽性者であることがわからない）が確実ではない（子）
 - ・関係者以外の出入りに対する不安がある（子）
 - ・コロナウイルスが落ち着かず、他の方との接触を減らしている為、受け入れを積極的にとはならない（子）
 - ・感染リスクを考慮しなければならない（子）
 - ・気軽に受け入れる状況にない（子）

→ワクチンなどの対策ができない限り、どこからウイルスが入ってくるかわからない環境のままだと、ボランティアを受け入れるのは難しいことが分かる。この状況を変えることが職員にはどうすることができないので、新たな形のボランティアを考えていく必要がある。

Q.5 当センターへの要望等があればご回答ください。

- A.
- ・スポーツプログラムで参加希望がありましたら引き続きご連絡下さい（障）
 - ・感染状況が落ち着いたら、是非ボランティアさんを受け入れたいです（高）
 - ・ボランティアの受入を再開できた時には、ご紹介頂けると助かります（高）
 - ・今回の「たまボラ」の内容の様に情報提供して下さると助かります（高）
 - ・このような状況の中でできるボランティア活動など、情報提供してもらえると助かる（高）
 - ・各施設の対応状況の一覧みたいなものを作って、ボランティアさんに周知していただくのも良いかと思います（高）
 - ・たまボラで各種取組みを紹介して頂けることは参考になる（高）

→市内のボランティアの状況などは定期的に施設に情報提供していきたい。

Q.6 貴施設で考えられる、家で出来るボランティアはありますか。また、それを当センターで紹介してもよろしいですか。

- A.
- ・例えばですが、換気を徹底した上での出張紙芝居や高齢者向け買物代行などは家でできるボランティアになるかと思います（高）
 - ・お子さんの絵や字でポスター（カード等）で応援メッセージなど送っていただき貼り出せたらうれしいです。ご利用の皆様もよろこびます（高）
 - ・繕いもの、裁縫（アームカバー、おしゃれ前かけ、フットレストカバーなど）（高）
 - ・マスクの作成等（障）
 - ・工賃収入確保のため、資源回収を拡大しています。新聞、雑誌、段ボール、アルミ缶など、提供してくださる方の声かけ、紹介などしていただけるとありがたいです（障）
 - ・簡単な縫製や手芸作品の手直しのボランティア（障）
 - ・子ども達への制作物等（子）
 - ・手仕事（手芸）が得意な方がいれば、人形の洋服などを依頼したい（子）

→ボランティアの受け入れを中止していることで、利用者は外部とのかかわりが少なくなっていることが予想される。少しでも楽しむ機会を持ってもらうためにも、リモート演奏会や動画を作成し見ってもらうなど、今できることで対応策を施設と考えていけたら思う。